産業廃棄物の目標・新たな指標の整理

資料１－２

表1-2-1　目標の課題

|  |  |
| --- | --- |
| 目標 | 課題 |
| 排出量 | ・排出量は景気や需給の状況等によって変動するため、　排出抑制の進捗状況を評価することが困難 |
| 再生利用率※ | ・排出量の約６９％を占める汚泥は水分を多く含むため、　その影響を受ける。 |
| 最終処分量 | ・景気や需給の状況等によって変動する排出量の影響を受け　る可能性がある。 |

※再生利用率＝再生利用量／排出量

表1-2-2　新たな指標の整理

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 長所 | 短所 |
| ① | 排出量から減量化量を除いて再生利用率、最終処分率を表す。 | ・水分等の影響を除いて、実態を表すことができる。 | ・木くずの焼却等、固形分の減量化量も合わせて除かれる。※1 |
| ② | 排出量から汚泥の減量化量を除いて再生利用率、最終処分率を表す。 | ・汚泥の水分等の影響を除いて、再生利用の実態を表すことができる。 | ・廃酸、廃アルカリ等液体廃棄物の水分の影響を除くことができない。 |
| ③ | 排出量、再生利用量から汚泥を除いて再生利用率、最終処分率を表す。 | ・汚泥の影響を除いて、汚泥以外の再生利用の実態を表すことができる。 | ・汚泥の再生利用の状況が反映されない。・廃酸、廃アルカリ等液体廃棄物の水分の影響を除くことができない。 |

※１：木くずの焼却等による減量化量は、減量化量全体(998万t)の約２％である。

[再生利用]

①排出量から減量化量を除いて表した再生利用率　　　　 ＝再生利用量／（排出量－減量化量）

②排出量から汚泥の減量化量を除いて表した再生利用率 　＝再生利用量／（排出量－汚泥の減量化量）

③排出量、再生利用量から汚泥を除いて表した再生利用率 ＝（再生利用量－汚泥の再生利用量）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ／（排出量－汚泥の排出量）

[最終処分]

①排出量から減量化量を除いて表した最終処分率　　　 　＝最終処分量／（排出量－減量化量）

②排出量から汚泥の減量化量を除いて表した最終処分率 　＝最終処分量／（排出量－汚泥の減量化量）

③排出量、再生利用量から汚泥を除いて表した最終処分率 ＝（最終処分量－汚泥の最終処分量）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　／（排出量－汚泥の排出量）

図1-2-1　①排出量から減量化量を除いて表した場合

①排出量から減量化量を除いて表した

　再生利用率等（％）

図1-2-2　②排出量から汚泥の減量化量を除いて表した場合

②排出量から汚泥の減量化量を除いて表した

　再生利用率等（％）

図1-2-3　③排出量、再生利用量、最終処分量から汚泥を除いて表した場合

③排出量、再生利用量、最終処分量

　から汚泥を除いて表した

　再生利用率等（％）

表1-2-3　大阪府、東京都、全国の処理状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 再生利用 | 大阪府 | 東京都 | 全国 |
| (Ｈ２６) | （Ｈ２４） | （Ｈ２４） |
| ①排出量から減量化量を除いて表した再生利用率 | ９３％ | ８９％ | ９４％ |
| ②排出量から汚泥の減量化量を除いて表した再生利用率 | ８６％ | ８５％ | ８７％ |
| ③排出量、再生利用量から汚泥を除いて表した再生利用率 | ８５％ | ８５％ | ８８％ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 最終処分 | 大阪府 | 東京都 | 全国 |
| (Ｈ２６) | （Ｈ２４） | （Ｈ２４） |
| ①排出量から減量化量を除いて表した最終処分率 | ７％ | １１％ | ６％ |
| ②排出量から汚泥の減量化量を除いて表した最終処分率 | ７％ | １０％ | ６％ |
| ③排出量、最終処分量から汚泥を除いて表した最終処分率 | ６％ | １０％ | ４％ |